

4

読む

朗読で表現しよう

大造じいさんとがん

名前 年 組 番

／6問

◆ 次の物語を読んで答えましょう。

がんの群れを目がけて、^① 白い雲の辺りから、何か一直線に落ちてきました。

「はやぶさだ。」

がんの群れは、残雪に導かれて、実にすばやい動作で、はやぶさの目をくらませながら、飛び去っていきます。

「あ！」

一羽、飛びおくれたのがいます。大造じいさんのおとりのがんです。長い間飼いらされていたので、野鳥としての本能がにぶっていたのでした。

はやぶさは、^② その一羽を見のがしませんでした。

じいさんは、^③ ピュ、ピュ、ピュと、口笛をふきました。こんな命がけの場合でも、飼い主のよび声を聞き分けたとみえて、がんは、こっちに方向を変えました。

はやぶさは、^④ その道をさえぎって、ぱあんと、一けりけりました。ぱっと、白い羽毛が、あかつきの空に光って散りました。がんの体は、ななめにかたむきました。もう一けりと、はやぶさがこうげきの姿勢をとったとき、さっと、大きなかげが空を横切りました。残雪です。

大造じいさんは、ぐっと、じゅうをかたに当てて、残雪をねらいました。が、^⑤ 何と思っただか、また、じゅうを下ろしてしまいました。

残雪の目には、人間もはやぶさもありませんでした。ただ救わねばならぬ、仲間のすがたがあるだけでした。いきなり、敵にぶつかっていききました。

(棕 鳩十「大造じいさんとがん」より引用)

① 「白い雲の辺りから、何か一直線に落ちてきました」とありますが、それは何ですか。

() に当てはまる言葉を文章中から書きぬきましょう。

() がん (の群れ) () をおそおうとする
はやぶさ

● 「一直線」から、はやぶさがスピードをつけておそってきたことがわかります。

② 「その一羽」とは、何ですか。文章中から書きぬきましょう。

() 大造じいさんのおとりのがん ()

※「おとりのがん」でもよい。

③ 「こんな命がけの場合」とは、どんな場合ですか ● 「どんな場合」という問いには「^④ 場合。」で答えましょう。

(例) 群れからおくれて、はやぶさにおそわれそうになっている場合。

※同じようなことが書けていればよい。

④ 「その道」とは、どの道ですか。次から一つ選んで、○を付けましょう。

() はやぶさが、がんをおそう道。

() 大造じいさんが、がんをねらう道。

(○) おとりのがんが、大造じいさんの方に行く道。

() 残雪が、はやぶさにおそわれたがんを救いに行く道。

● じいさんが口笛をふいて、がんはじいさんの方へ飛んでいこうとしています。

⑤ 「何と思っただか、また、じゅうを下ろしてしまいました」とありますが、大造じいさんはこの時どう思ったのでしょうか。

(例) 仲間を救うために、はやぶさに向かおうとする残雪を、うつことはできない。

※同じようなことが書けていればよい。